

令和5年度 学校運営方針

〈運営の重点〉

- I 教科等横断的な教育課程で、未来を切り拓くための学力とたくましい心と体を一体的に育成する。
- II 家庭・地域と協働し、質の高い教育活動を展開する。
- III 教職員の資質・能力の向上を図り、働き方改革を推進する。

〈運営方針〉

1 児童の資質・能力向上（未来を切り拓くための学力とたくましい心と体の育成）

(1) 教科等横断的な学習指導の実施

生活科・あけまち学習を軸として、「人権」「郷土愛」を視点とする教科等横断的な教育課程を編成する。自分の考えや思いを表現し、他者と学び合って自己を高めるために、教科等で知識や概念を得るとともに、言語活動や読書活動、国語科、外国語科等で言語能力を、全教科等で情報活用能力を高める。道徳科、あけまち学習、特別活動等により、向上心や協働して課題解決できる実践力を育てる。

(2) 学び方を学ぶ授業づくり

ICT 機器を最大限に活用し、学ぶ意義を見付け、学び方を学ぶために、課題を発見し、学習計画を立て、協働して学び、振り返る個別最適化された学習サイクルを確立する。表現する喜びや分かる・できる楽しさと達成感を味わえるようにする。

(3) 質の高い教材・人材による指導

質の高い教材・人材を精選し、専門機関等と連携して、教育活動の質の向上を図るとともに、夢や目標を描ける出会いを大切にする。地域の幼稚園、こども園、中学校、高等学校、大学等との連携を充実させるとともに、教材・人材支援ネットワークを構築して支援する。

(4) 健やかな発達への支援

専門家、他機関と連携して、児童の発達の状況を見極め、ニーズに応じた支援をする。いじめ、問題行動、不登校を生まない学校環境づくりを行う。就学前教育との連携を充実させる。

(5) 良い習慣づくり

家庭や幼保こ園、中学校と連携し、学習、運動、読書、メディア使用、食、礼儀、掃除の良い習慣づくりを行う。

2 コミュニティスクール体制の充実

- (1) 教職員全員で児童の成長を促し支えるという意識のもと、学級や学年の枠を超えて指導体制の充実を図る。主に集団の場面で必要な指導や援助を行うガイダンスと、個々の児童の多様な実態を踏まえ、一人一人が抱える課題に個別に対応した指導を行うカウンセリングの双方により児童の発達を支援する。この実現のために、教員は専門スタッフを最大限に活用するとともに、専門機関等とのコーディネートを行う。
- (2) 教育目標と教育課程について家庭・地域と共有し、協働して実現を目指す。学校運営協議会やPTA行事、関係団体の会議等を活用して情報共有を図り、みんなで児童を育てようとする意識を高め、行動を起こすことに努める。

3 教職員の資質・能力向上による働き方改革

- (1) 素養・資質、知識・技能、連携・協働の観点から資質・能力を高める。基礎固めの時期、推進力をつける時期、助言・指導の役割を果たす時期等、自分のライフステージやキャリアに応じた力をつける。
- (2) 教員の使命と職責を自覚し、コンプライアンスを徹底する。
- (3) 働き方改革を推進し、教職員自身が豊かな人生を送ることにより、教育目標の実現に迫る。